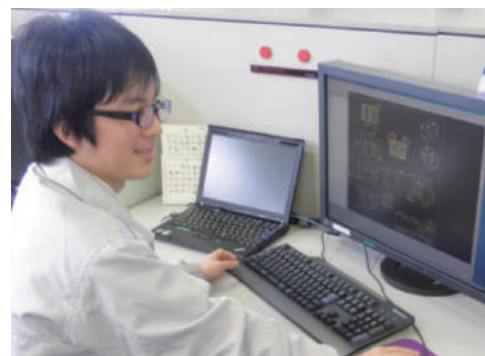


就職

ノリモノに関わる幅広い就職先!

ノリモノ業界は裾野が広い

交通機械工学科を卒業した先輩方の多くは、自動車や航空機、船舶など「ノリモノ」の設計・開発の最前線で活躍しています。また、高校教員になって後進の指導に情熱を燃やす先輩もいます。



主な就職先企業名

自動車関連

- (財)日本自動車研究所 ● ダイハツ工業
- スズキ ● TRD ● トヨタ車体研究所
- トヨタテクニカルディベロップメント
- ホンダテクノフォート
- 日野ヒューテック
- 三菱自動車エンジニアリング など

航空機・船舶・その他

- 尾道造船 ● 三菱重工長崎造船所
- 東明エンジニアリング(航空機開発)
- 東京海上日動サービス
- 高校教員 など

先端交通・航空宇宙コースでめざす進路例

航空機・宇宙機開発

- 三菱重工関連製造メーカー ● 川崎重工関連製造メーカー
- IHI関連製造メーカー ● SUBARU関連製造メーカー ● 新明和工業関連製造メーカー
- 川重岐阜エンジニアリング ● 東明エンジニアリング など

航空関連産業

- 日本航空関連会社 ● ANA関連会社 ● 空港グランドハンドリング会社
- スターフライヤー、オリエンタルエアブリッジなどの定期航空運送事業会社
- 航空機製造・修理会社 ● 航空機整備部品製造・修理会社 など

その他

- 大学院進学 ● 公務員 ● 高校教員 など



Voice of Graduate 卒業生の声

深く幅広い知識を生かし、トヨタ自動車(株)で活躍!

トヨタ自動車(株) 車両実験部



須貝 基司さん

工学部交通機械工学科 2007年卒業
大学院自動車システム工学専攻 2009年修了
三重県 近畿大学工業高等学校出身

トヨタ自動車(株)で燃費に関わる企画、開発、評価を行っています。燃費をよくするには、自動車を構成する部品の原理・原則を理解し、小さな改善を積み重ねていくことが重要です。久留米工業大学で、自動車工学、内燃機関工学等の自動車に関する基礎教育から、昨今問題になっているエネルギー問題、環境への負荷低減といったテーマの研究まで、幅広い知識を身に付けることができたのは大きな財産

になっています。さらに、自動車業界第一線で活躍してこられた方が教授として講義を行っていることを、改めてすごいと感じていますし、座学だけでは学べない実践的な教育が、今の仕事にたくさん生かされています。ほとんどの職場でグローバル環境が進み、多くの場面で英語でのコミュニケーションが求められます。学生のうちから英語に触れる機会を意識的に増やすことをお勧めします。

資格

ノリモノ業界と関わるための資格取得をサポート!

交通機械工学科でめざせる資格

先端交通・航空宇宙コース

- TOEIC (R)
- 機械設計技術者(2級、3級)
- CAD利用技術者
- 危険物取扱者(乙種)
- 高等学校教諭1種免許(工業)

自動車コース

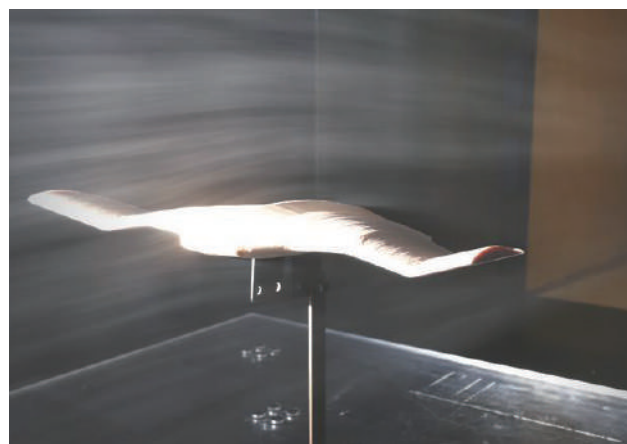
- 2級ガソリン自動車整備士
- 2級ジーゼル自動車整備士
- ハイブリット車取扱い資格
- CAD利用技術者
- ガス溶接技能者
- 危険物取扱者(乙種)
- 高等学校教諭1種免許(工業)

施設紹介



■ AEC(Aerospace Education Center) 航空宇宙実習棟

2018年4月に開設した「先端交通・航空宇宙コース」の象徴的な教育施設として、航空宇宙実習棟(AEC:Aerospace Education Center)が完成しました。航空宇宙工学に精通した教員から航空機の翼や構造の理論を2階講義室で学んだ後、1階ハンガーのセスナ機(2機)で直ちに確認するというユニークな教育が可能な施設です。



■ ゲッチングン型 風洞試験設備

航空機やスポーツカーのデザインや、新たな空力デバイスの研究を行っています。



■ インテリジェント・モビリティ研究所

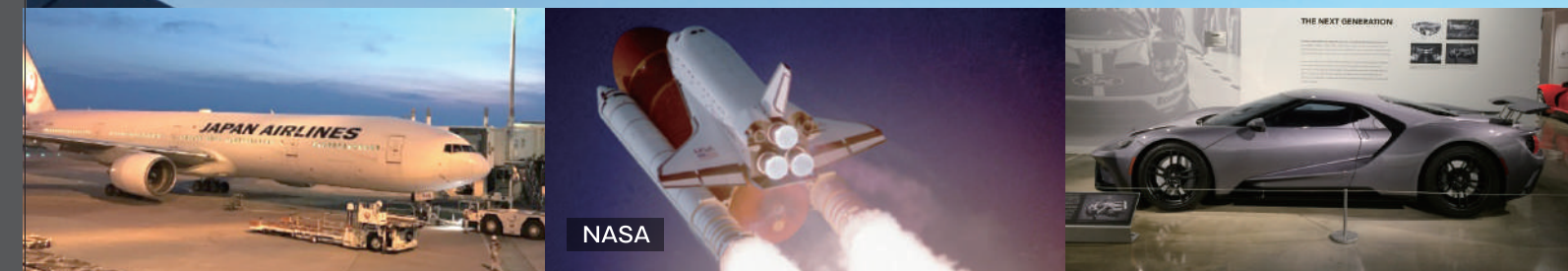
AIやIoTといった最新ITを駆使したスマートモビリティの研究などを行っています。

交通機械工学科



モビリティ(ノリモノ)の未来を創造する

https://www.kurume-it.ac.jp/gakubu/kotsu_shokai.html



学科の特徴

航空機や自動車などの最先端のモビリティ(ノリモノ)の開発と製造は、世の中になく新たな価値を創造する刺激的で魅力的な仕事であり、日本の最先端技術を背負っているという誇りを強く感じられる仕事でもあります。未来に誇れる最先端モビリティの仕事に携わりたいという高い志を持った皆さんをお待ちしています。

01

先端交通・航空宇宙コース

航空宇宙工学と先進モビリティ情報技術を極める

航空宇宙業界が大学に求めている人材は、高度な専門知識とマネジメント能力を持ち、安全への強い思いをもった高度な技術者です。この社会的な要請をふまえて、先端交通・航空宇宙コースでは、総合工学としての航空宇宙工学を学ぶことにより航空機や宇宙機(ロケットや人工衛星など)の設計技術者・製造技術者を指す人材やエアラインなどの航空機整備士や運航技術者を指す人材を育成します。我が国唯一の「航空安全工学」と「先進モビリティ情報技術」を同時に学べるのが本コースの最大の強みです。

02

自動車コース

自動車に特化した開発技術とメンテナンス技術も学ぶ

このコースでは、自動車の性能や構造に関わる科目を通じて、自動車の開発・設計・製造から保守管理まで深く学んでいきます。それらの知識は、実験・実習・自主活動などの場で実践でき、より実務に近い形で修得できます。自動車の開発技術や設計思想など4年制大学ならではの授業に加え、自動車の構造をより深く理解できる実践的な整備実習が両立しているのが、このコースの大きな特色です。修了すれば二級自動車整備士試験の実技試験が免除されるので資格取得の助けにもなり、将来の選択肢が広がります。

先端交通・航空宇宙コース

高度な先端情報技術や航空宇宙工学を究める

Check 身に付く力

自動運転や人工知能の応用といった次世代モビリティの先端技術に加え、航空宇宙工学や航空機整備の知識が身に付きます。これからのモビリティは電動化や高度な制御技術が求められます。本コースの学生は航空機や自動車などの先端モビリティ開発の最前線で活躍するエンジニアや、航空機の高度整備エンジニアをめざします。



実力を身に付けるためのコースカリキュラム

1 数学、物理の基礎をしっかり身に付ける。

2 総合工学としての航空宇宙工学の基礎学問を身に付ける。

- 材料力学 ●航空機材料
- 航空機構造 ●航空流体力学
- 圧縮性流体力学 ●飛行力学
- 熱力学 ●ジェットエンジン工学
- 制御工学 ●航空機設計
- 航空機生産法 ●ロケット工学
- 人工衛星工学 などの科目

3 航空宇宙産業で必要とされる技術を身に付ける。

- 航空機整備実習 などの実習科目

4 航空安全の考え方やそのマネジメント手法を身に付ける。

- 航空安全工学 などのユニークな科目

5 先進モビリティ情報技術を身に付ける。

目指す進路

1 航空宇宙機開発

航空宇宙産業の設計技術者、製造技術者

2 エアライン

航空機整備や運航技術者、整備士

3 先進モビリティ開発

自動運転やAIを駆使したスマートモビリティ開発技術者



セスナ

AIやIoTなどの先進情報技術にも強く、基礎力と応用力を身に付けた航空宇宙工学技術者として航空機・宇宙機の設計、製造、航空機の整備や運航の分野で指導的な働きをすることができます。

自らの成長を実感できる喜び 学生プロジェクト



ロケット研究会/航空研究会

種子島ロケットコンテストを目指してロケット開発を行うとともに、ハイブリッドロケットの打ち上げを計画しています。また、ウルトラライトプレーンやセスナ機の実機を使って電動化の研究などの活動を行っています。



久留米工業大学フォーミュラプロジェクト

全日本学生フォーミュラ大会とは全国および海外から100校を超えるチームが参加し、レース車両の開発技術(設計・性能開発)を競い合う大会です。9月に行われる全国大会では、学生自らが設計し、製作した車両でその速さを競い合います。最終競技のゴールは1年間の想いがこみ上げ、大きな感動を得ることができます。本学は九州勢では常に1,2位を競う強豪校です。

Topics

文部科学省 私立大学研究ブランディング事業に採択されました!!



インテリジェントモビリティ研究所と交通機械工学科が中心となり、産学官の強固な連携で全国に先駆けて開発した人工知能を搭載した対話型自動運転モビリティ「パートナーモビリティ」の研究開発が認められ、平成30年度「文部科学省私立大学研究ブランディング事業」に採択されました。

本学は、Society5.0に基づき、強味である先進モビリティ技術(モビリティ技術×先進IT)で高齢者や障がい者の移動の不安を解消し、全ての人がいきいきと活躍できる社会の実現に貢献します。本事業では、学長のリーダーシップの下で交通機械工学科を中心に全ての学科が連携して「パートナーモビリティ」の要素技術と周辺技術を社会実装レベルまで高め、地域が誇りに思う大学、地域から誇りにされる大学を目指します。

自動車コース

自動車についてとことん突きつめる

Check 身に付く力

自動車に特化した開発や生産の技術を学び、その理解を深める狙いでメンテナンス技術も学びます。自動車コースも先端交通・航空宇宙コースと同じで基本的には開発や生産技術のエンジニアをめざしますが、指定選択科目を履修すれば卒業と同時に2級自動車整備士受験資格が取得できるので就職の幅が広いと言えます。



コースの特徴

1 機械の基礎+整備を学び資格取得へつなげる

機械の基礎や自動車整備など幅広い分野を学んだのち、二級自動車整備士資格取得へ導きます。

2 開発から製造、保守管理までの総合工学

自動車に特化したカリキュラムで設計開発から製造技術、保守管理技術まで深く学びます。

3 自動車関連を中心に幅広い分野で活躍

自動車に限らず、広く輸送機器メーカー全般に道が広がっています。

Pick Up 学びのポイント



自動車による実習

授業で得た、自主活動などの実践を通して深く理解します。



創造プロジェクト

年1回の学生フォーミュラ大会に向けてマシンを設計。ものづくりの醍醐味を味わえます。



学びの仕上げは卒業研究

全身で学んできた各分野の専門知識を総動員。将来に生かせる財産となる経験です。

Check ユニークな教育と研究

レース車両の空力デザイン



スポーツカーやレース車両の空力デザインに従事していた教員から実社会の経験に基づいたリアルなデザイン開発技術を学べます。

次世代ディーゼルエンジン



ディーゼルエンジンの研究開発に従事していた教員から自動車メーカーと同様の設備を用いて最先端の開発技術と理論を学べます。